

SOLEIL S49

ソレイユ S 4 9
施工要領書
マルスギ株式会社

第 4 版

注意事項

1. 本資料は専門工事業者（瓦屋根）を対象としています。
2. 本資料は当社の標準施工要領を示すものです。
（地域・ハウスメーカー毎に施工方法が異なる場合があります。）
3. 本資料は法改正、商品改良のためなどにより予告なく変更する場合がありますので、施工の際には本資料が最新であることをご確認ください。

改定内容

【第4回改定】 2023. 7

- ・ 流れ壁の納まりに乾式追加

【第3回改定】 2022. 1

- ・ 本谷メタル（谷樋）厚み変更

【第2回改定】 2019. 10

- ・ 6.5寸丸（ロング）関連を7寸丸へ変更

※ 現在移行期間です。在庫終了したものより7寸丸へ変更いたします。
6.5寸丸（ロング） 働き長さ303mm → 7寸丸 働き長さ265mm

【 制 定 版 】 （初版） 2017. 1

目 次

1 . 安全上のご注意	-----	1
2 . 安全作業のために	-----	1
1) 作業開始前の点検・確認		
2) 作業における点検・確認		
3) 施工後の養生・保守管理		
4) その他		
3 . 安全作業	-----	2
安全管理（高所作業の安全）		
現場での瓦の取扱方法		
瓦揚げ		
梱包の解き方		
4 . 施工後の保守・管理	-----	3
5 . 製品の仕様	-----	4
6 . 製品リスト		
製品リスト 瓦	-----	5
雨押え・水切部材・木材・副資材	-----	6～7
製品使用箇所	-----	8
7 . 屋根瓦割寸法	-----	9
8 . 軒先・袖の下地納まり	-----	10
9 . 下葺工事	-----	11
10 . 棧葺き	-----	12～13
11 . 袖の納まり	-----	14
12 . 7寸丸湿式工法	-----	15
13 . 谷の納まり	-----	16
14 . 片流れの納まり	-----	17
15 . 壁際の納まり	-----	18
16 . 雪止及び雪止金具の施工	-----	19

1. 安全上のご注意

＊瓦屋根工事の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しく工事してください。

●表示内容を無視して誤った工事をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分して、説明しています。

警告	＊この表示の欄は「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
注意	＊この表示の欄は「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

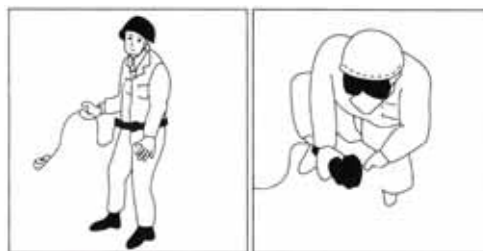
●工事終了後、チェックリストにしたがって各部の点検を行い、異常のないことを確かめてください。

警告	
●屋根工事に際しては、屋根からの転落の危険があります。 施工要領書通りに正しい作業を行ってください。	＊安全対策を怠ると、落下してケガをするおそれがあります。
●屋根工事に際しては、必ず転落防止のための防護ネットや足場を設置してください。	＊設置を怠ると、落下してケガをすることがあります。
●屋根面から器物が落下しないようにしてください。 瓦の積み上げ、破材処理については、施工要領書通り正しい作業を行ってください。	＊器物が落下すると、ケガ及び器物破損のおそれがあります。
注意	
●瓦は施工要領書通りに必ず緊結してください。	＊緊結不良により、瓦のズレ、落下のおそれがあります。
●瓦の取り扱いには必ず手袋を着用してください。	＊瓦のバリなどによりケガをするおそれがあります。
●結束された瓦の取り扱い時には結束バンドの強度を確認してください。	＊結束バンドの接着不良、劣化等により結束バンドが切れることがあります。

2. 安全作業のために

1) 作業開始前の点検・確認

- ①屋根工事作業者は、正しい服装で安全作業をしてください。
- ②保護帽はきちんとかぶり、あごひもは確実にしめ、安全帯(命綱)、作業靴(すべりにくいもの)を必ず着用してください。
- ③健康状態に注意して作業してください。
- ④グラインダー・サンダーでの切断時には防塵メガネ・防塵マスクを着用してください。



2) 作業における点検・確認

- ①屋根勾配・流れ長さ・地域等に適した設計基準になっているかを確認してください。
- ②屋根下地の施工が安全に行われているかを確認してください。
- ③整理・整頓に心掛けてください。
- ④転落防止の足場を確保して下さい。
- ⑤機械工具類の安全運転の確認をしてください。

3) 施工後についても養生・保守管理を徹底してください。

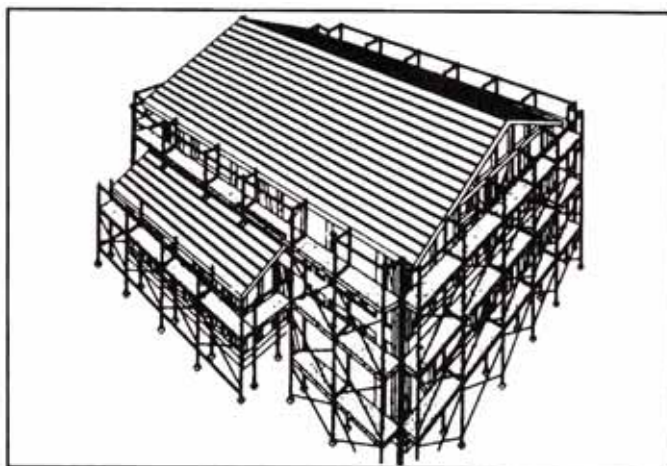
4) その他

- ①この施工要領書は、瓦屋根工事技士、瓦葺一級技能士、二級技能士、またはこれらと同等の施工能力を持った専門業者を対象としています。

3. 安全作業

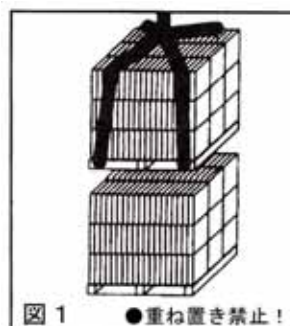
安全管理（高所作業の安全）

- ① 墜落防止のために高所作業には足場、瓦揚げ機、脚立等の設備を使って適当な広さの、手すりを設けた作業床を設けてください。
- ② 墜落防止のため、防護ネットを設けてください。



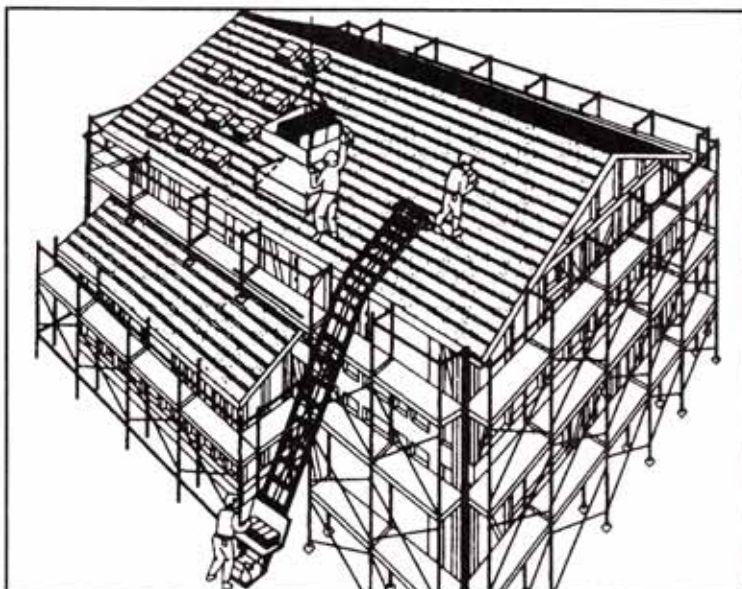
現場での瓦の取扱方法

- ① 現場へ瓦を置くときは置き場所が水平かどうかを確認してください。
- ② 瓦のパレット積み商品の重ね置きは禁止します。
- ③ 瓦のバラ置きの場合は荷崩れしないようにしてください。
- ④ 瓦の建屋にもたせかけないでください。
- ⑤ 瓦を運ぶときは、結束バンドを持たないで瓦自体をお持ち下さい。
(結束バンドの接着不良、劣化等により、結束バンドが切れることがあります。)



瓦揚げ

- ① 瓦揚げの場合、瓦揚げ機、クレーン等で行ってください。手渡し等は絶対にしないでください。
- ② クレーン使用の場合は、必ず有資格者が行ってください。屋根上で水平となるような台を設置してから作業してください。
- ③ 瓦揚げ機の台車には瓦が落下しないような積み方をしてください。
- ④ 瓦揚げ機を使用の際には、瓦揚げ機の仕様書に従ってください。
- ⑤ 作業現場の状況に適した機械のかけ方をしてください。
- ⑥ 地上で作業する者は常に頭上に注意し、落下物に対する身の処置を考えておいてください。
また屋根上で作業する者は、台車を止める位置と合図を明確に指示し、上下の連絡を密にしてください。
- ⑦ 瓦揚げ機の台車には絶対に乗らないでください。



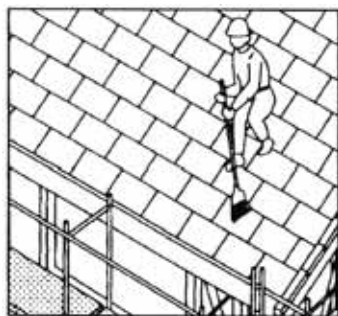
梱包の解き方

- ① 屋根上での瓦は一束以上は積み上げないでください。
- ② 屋根上で結束バンドを解くときは、カッターで結束バンドを切断し、包装紙・結束バンドが飛散しないようにしてください。

4. 施工後の保守・管理

- 葺き上げた瓦屋根を完全な状態でお施主様に満足していただくために、屋根施工後、施工事業者の方に次の点を十分にご注意いただくよう指示徹底をしてください。

①工事終了後は、必ずゴミやクズなどをきれいに掃除してください。



②足場を組む場合は、屋根面に必ず養生板を敷くようにしてください。

※屋根面を足場にして作業する場合は、必ず養生板を敷きこんでください。



③作業中、足場から屋根面へ跳び降りたり、物を落としたりするとヒビ割れ、破損を生じ、雨漏りなどクレームの原因となりますので注意指摘してください。

※特にオーバーラップ部を踏まないように注意してください。

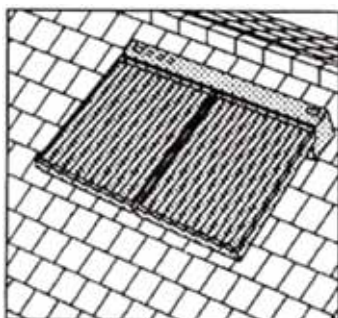


④壁面、その他モルタル塗り、リシン吹きつけなどの吹付作業に際しては、屋根面のシート養生を徹底するよう指示してください。

※瓦に付着したモルタル塗装の汚れは、補修できませんのでご注意下さい。

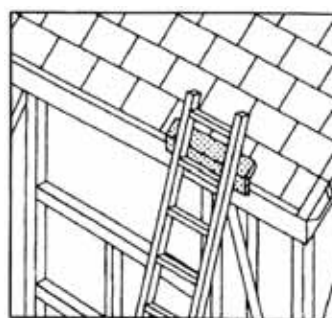


⑤アンテナ、温热水器等の設置止め付け時は瓦の破損、ずれが生じやすくなりますのでご注意ください。



⑥ハシゴをかける場合には、当木を使ってください。

※重量物を設置する場合荷重が1点にかからないようにしてください。



5. 製品仕様

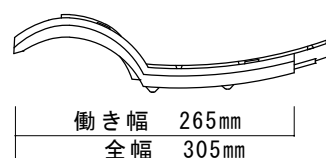
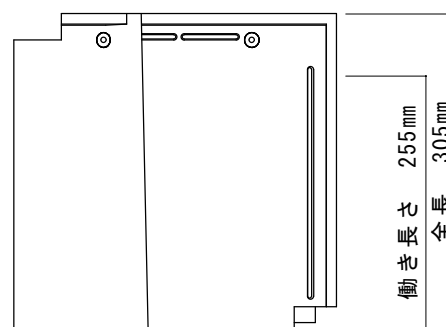
ソレイユ S49

全 長	305mm	全 幅	305mm
働き長さ	255mm	働 き 幅	265mm
重 量	2.6kg/枚 (38.5kg/m ²)		
葺き枚数	49枚/坪		
梱包枚数	432枚/パレット		

標準屋根勾配及びその流れ長さ

標準屋根勾配	4.0/10	4.5/10	5.0/10	5.5/10	6.0/10
その流れ長さ	8m	10m	12m	15m	17m

【注】これはソレイユS49を安心してお使い頂くための標準値です。

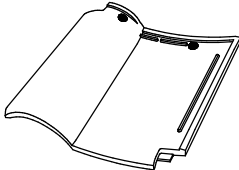
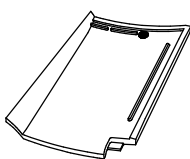


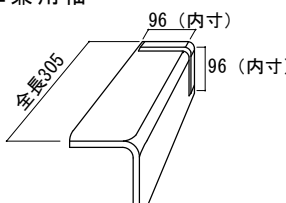
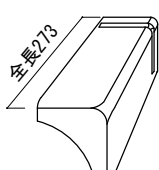
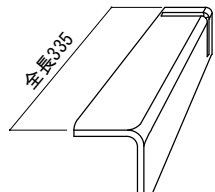
建築基準法 第2条9項に基づき国土交通省告示第1400号に瓦は不燃材料として定められています。

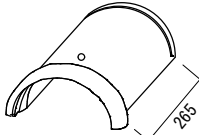
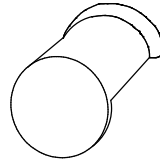
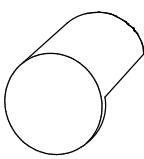
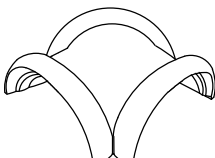
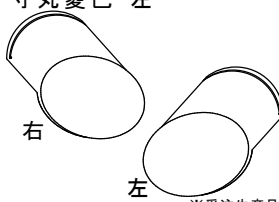
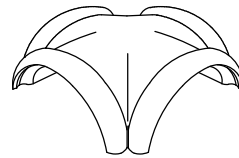
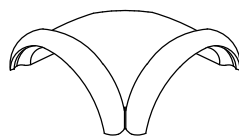
1100度以上の高温で焼き固められているので通常の火災時の加熱に対して、燃焼、変形、溶融、亀裂、有害なガスの発生はありません。

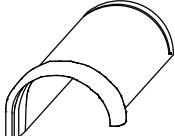
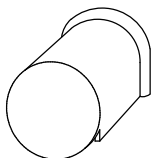
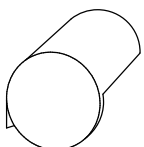
6. 製品リスト

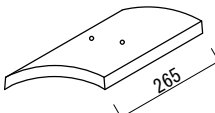
※寸法は働き寸法

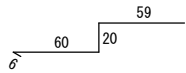
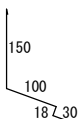
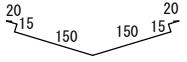
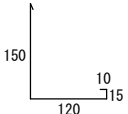
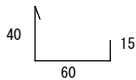
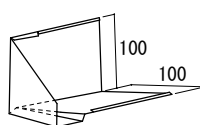
ソレイユ S 4 9		
ソレイユ S 4 9 棧瓦	ソレイユ S 4 9 半瓦 (カット)	
		

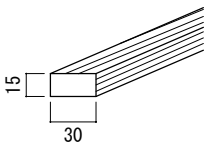
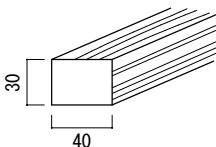
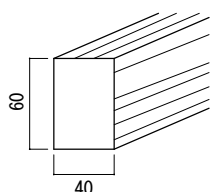
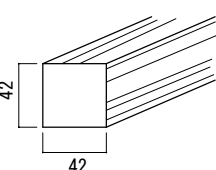
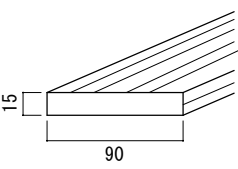
ソレイユ兼用袖瓦		
ソレイユ兼用袖	ソレイユ兼用角	ソレイユ兼用寸長袖
		

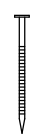
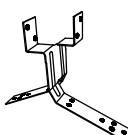
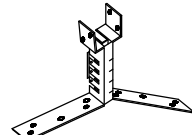
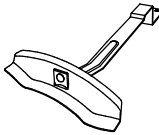
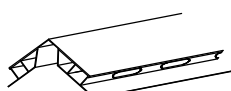
7 寸 丸			
7 寸 丸	7 寸 丸 止 メ 大	7 寸 丸 止 メ 小	7 寸 丸 カ ッ ポ ン (7 寸 丸 隔 棟 止)
 全長 290mm 働き長さ 265mm 外寸 230mm 内寸 195mm			
7 寸 丸 三 つ 又	7 寸 丸 菱 巴 右 7 寸 丸 菱 巴 左	7 寸 丸 四 ツ 又	7 寸 丸 曲 り
	 右 左 ※受注生産品	 ※受注生産品	 ※受注生産品

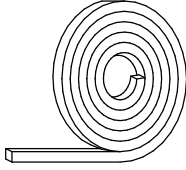
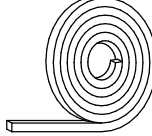
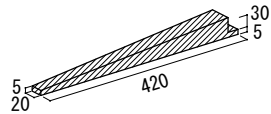
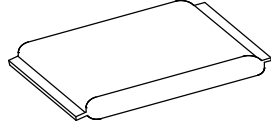
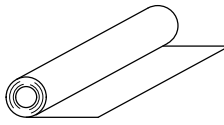
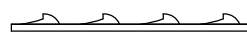
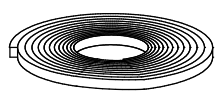
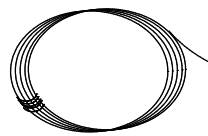
7 寸 垂 れ 付 丸			
7 寸 垂 れ 付 丸	7 寸 垂 れ 付 丸 止 メ 大	7 寸 垂 れ 付 丸 止 メ 小	
 ※受注生産品	 ※受注生産品	 ※受注生産品	

その他			
厚 の し			
 ※素焼のみ			

雨押え・水切部材			
軒先メタル Z 瓦座の形状に関係なく取付 瓦座の前に取り付け  長さ 1829mm GLt=0.35 ○	平行壁・流れ壁メタル (雨押えメタル)  長さ 1829mm GLt=0.35 ○	本谷メタル (谷樋)  長さ 1829mm ステルス=0.35以上 GLt=0.35以上 ○	流れ壁捨水切  長さ 1829mm GLt=0.35 ○
ケラバ捨水切  長さ 1829mm GLt=0.35 ○	壁止め板金 右 左 壁止め板金 左  図は左 GLt=0.35 ○	軒先メタル (三角) 三角の瓦座の場合のみ使用 瓦座の後に取り付け  長さ 1829mm GLt=0.35 ○ □	

木材				
桧木 15×30以上  針葉樹類 防腐処理 □	瓦座 30×40  針葉樹類 防腐処理 □	登り淀 60×40  針葉樹類 防腐処理 □	垂木 42×42  針葉樹類 防腐処理 □	笠木 15×90  針葉樹類 防腐処理 □

副資材			
ステンレスブロンズビス (パッキン付) 50, 65, 75, 100  ※他色可 ねじ部φ3.8-4.2mm SUSXM7 ○	Mリング釘 90 (瓦用) #12×90mm  SUS304 ○	耐風L釘 L-75 #12×75mm  SUS304 ○ □	ステンレスリング釘 (桧木用) #14×45mm  SUS304 □
ステンレススクリュー釘 (板金用) #14×32mm  SUS304 □	棟金具 固定式 80, 90, 100  ○	棟金具 可変式 60~100, 80~120  SUS430 ○	ソレイユ雪止金具  SUS430 ○
換気棟 換太郎 棟換気部材  ○			

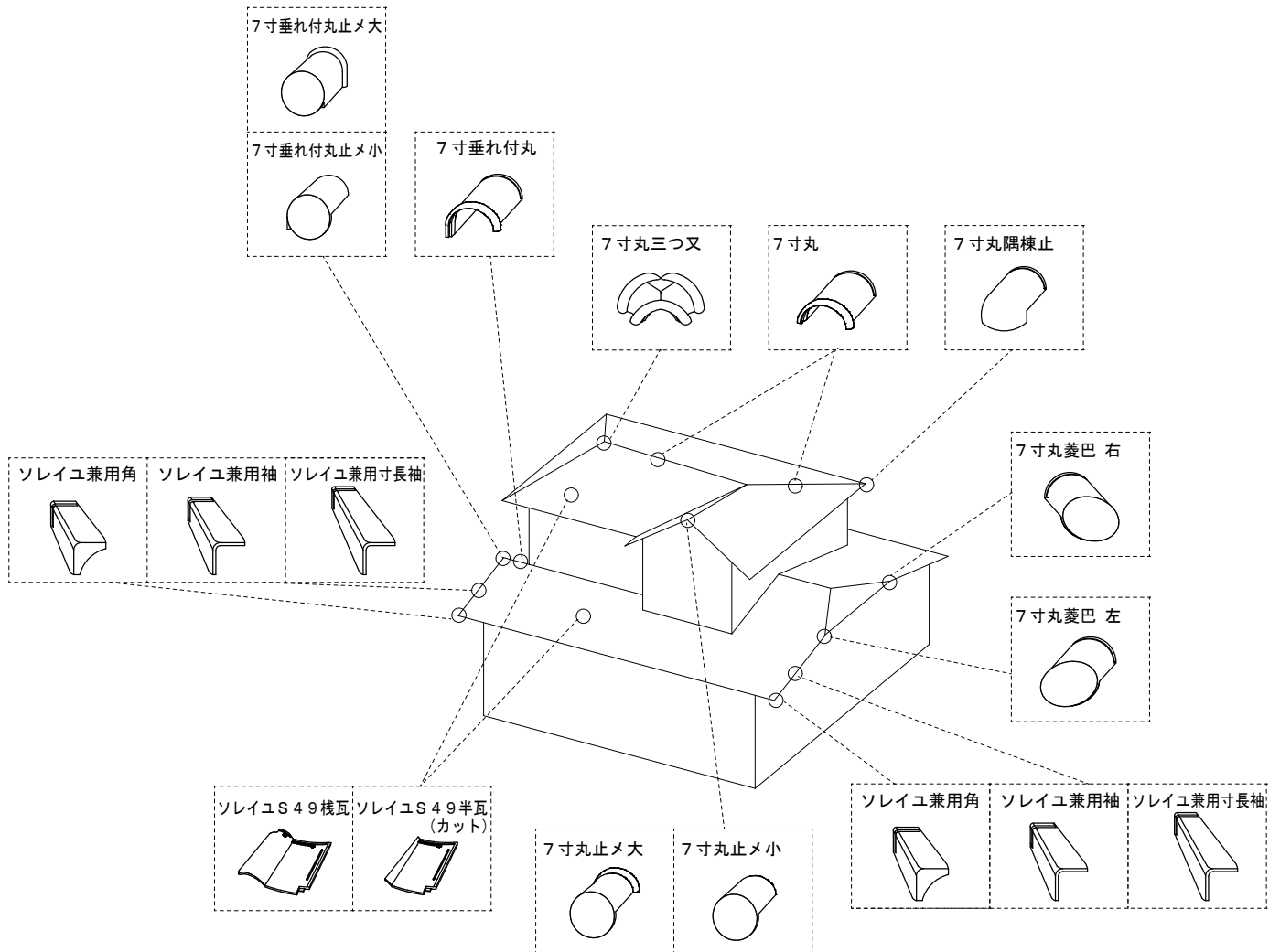
副資材			
EPDMシーラー25×20  長さ 2000mm 主にロク、エクサに使用 ○	EPDMシーラー15×15  長さ 2000mm 主にフィットに使用 ○	EPDM段付シーラー (流壁用シーラー)  瓦1段分 ○	しっくい 色：黒・白  ○ □
瓦用接着剤  シリコン又は変成シリコン □	ゴムアス系ルーフィング  □	ソレイユ軒先プラ面戸 I型 色：グレー  長さ 1060mm 塩化ビニル 軒先の瓦座(角材)に打ち付けて使用 ○	ソレイユ軒先プラ面戸 L型 色：グレー  長さ 1060mm 塩化ビニル 軒先の瓦座(角材)に打ち付けて使用 ○
縦棧用テープ  1巻 30m □ ○	ホルマル被覆銅線 又はステンレス線  #19以上 □		

※ 副資材について

製品リスト記載の副資材は当社の推奨品です。

瓦屋根標準設計・施工ガイドラインの仕様に準拠している部材は使用可能です。

製品使用箇所



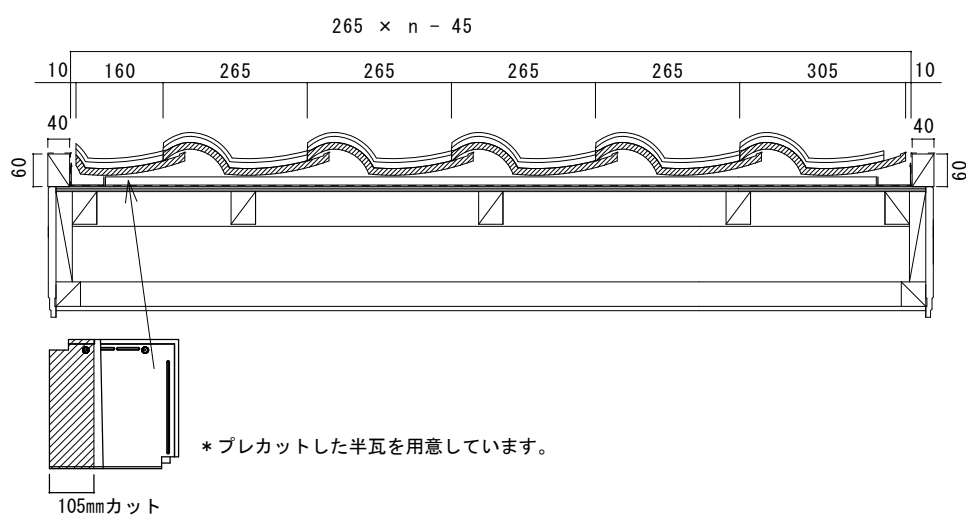
7. 屋根瓦割寸法

野地の瓦割り付け

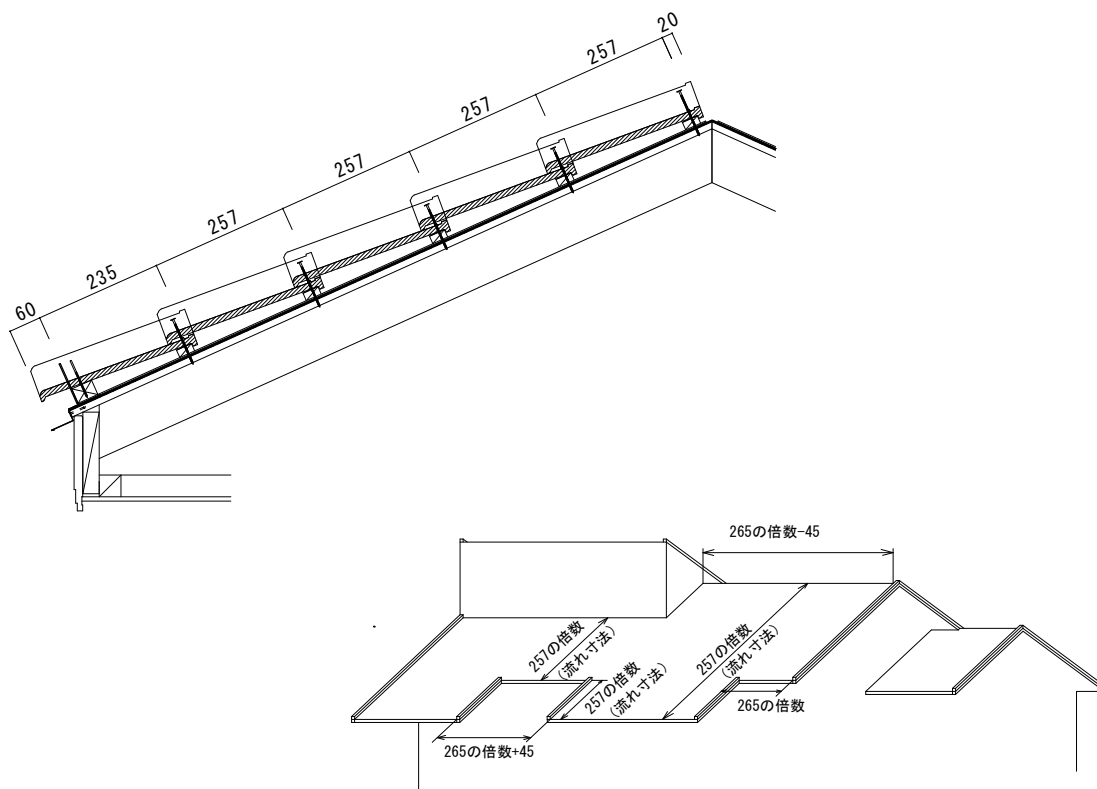
* 瓦の割り付けをする場合は下記寸法によって割り付けてください。

* 桁行方向の野地寸法は、棧瓦の働き幅265mmの倍数-45mmで決めて下さい。

注意) 登り淀の内々の寸法



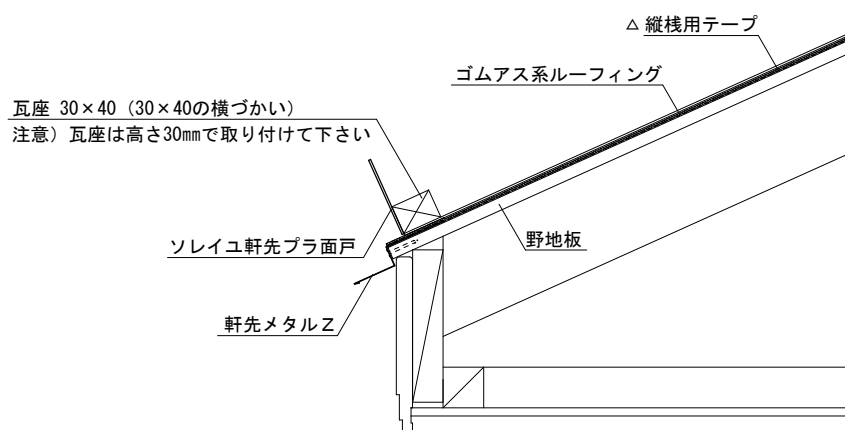
* 流れ方向の野地寸法は、軒先1段目を235mm（瓦の出60mmの場合）+ 棧瓦の働き長さ255mmに2mmを加えた257mmの倍数+20mmで決めてください。



8. 軒先・袖の下地納まり

軒先

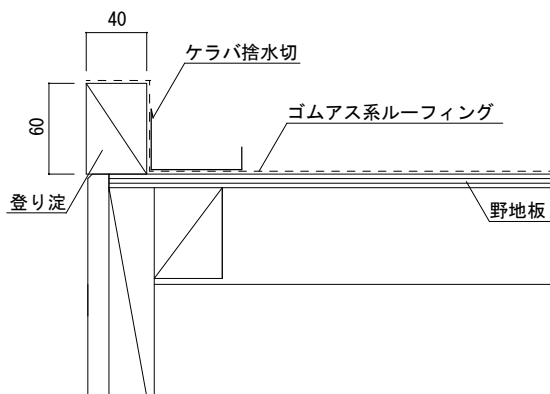
- * 軒先の立ち上がりは30mmです。
- * 瓦座をあとから取り付ける場合は軒先メタルZを使用します。
 - ・ 軒先メタルZは瓦座を取り付ける前に取り付けてください。
 - ・ 水抜きの無い瓦座を使用する場合は、縦桟用テープを瓦座の下に入れてください。
 - ・ 瓦座前面にソレユ軒先プラ面戸を取付けて木材表面をカバーしてください。



△ 縦桟用テープは水抜き桟木使用の場合、不要。

袖

- * 登り淀の幅は40mmにしてください。
- * 登り淀の立ち上がり寸法は60mmです。
- * 破風板にサイディングボードを差し込む場合は、破風板面と袖瓦取り付け面の間を、ボードの厚み以上確保するように任意のサイズのスペーサーを取り付けるなど処置をしてください。

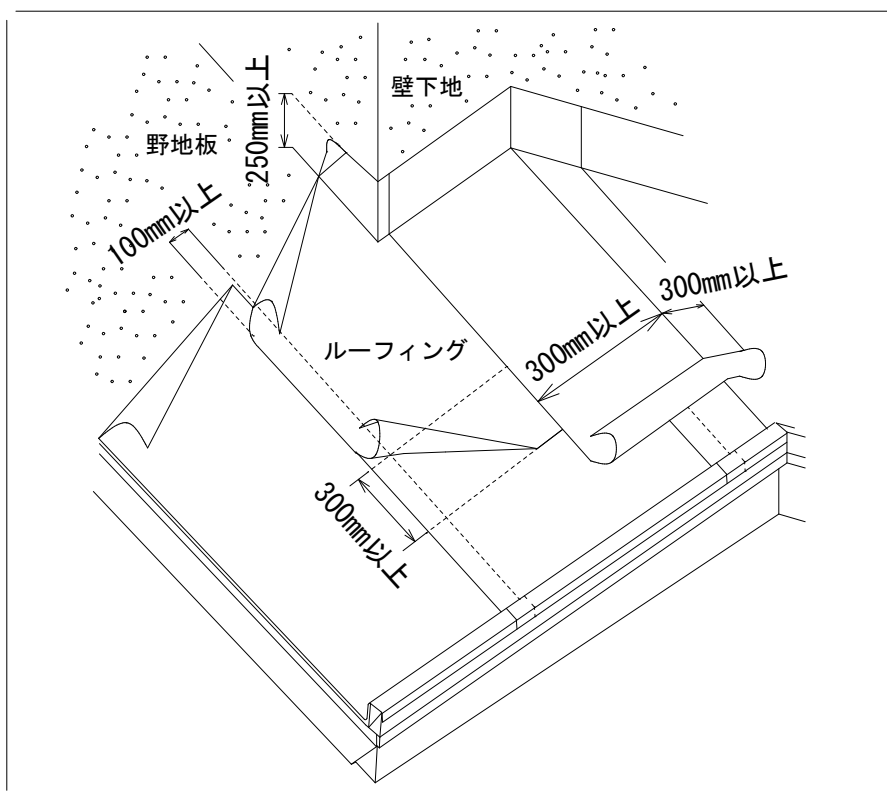


9. 下葺工事

防水材

- * ルーフィングは桁行き方向に横張りしてください。
- * ルーフィングの重ね、立ち上げ寸法は下記図及び表を参考にしてください。
- * 軒先は瓦座の先端まで張ってください。
- * ピンホールが出来るおそれのある所、破れた所は、ルーフィングの材質に合わせた防水テープやコーキング等で補強してください。

	流れ方向	桁行方向	大棟	隅棟	谷	壁際
ルーフィング重ね 立ち上げ寸法	100mm以上 重ねる	300mm以上 重ねる	棟芯より 300mm以上 重ねる	水下側で 250mm以上 重ねる	捨てルーフィング + 水上側で 200mm以上 重ねる	250mm以上 立ち上げる



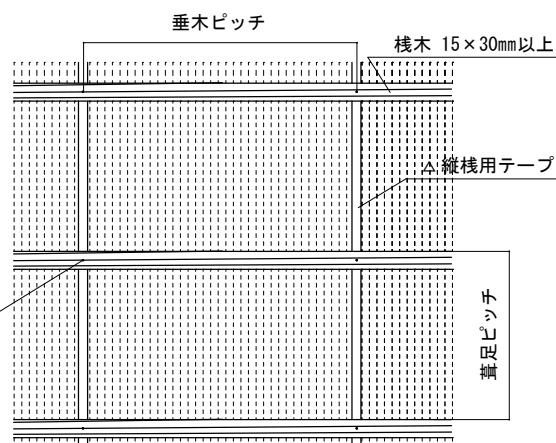
10. 棧葺きー1

縦棧打ち・瓦棧打ち

- * 縦棧は縦棧用テープを使用し、垂木ピッチにタッカーで取り付けてください。
(水抜き棧木を使用する場合は不要です。)
- * 棧木は、15×30mm以上、材質・形状的に良質のものを選んでください。
- * 瓦棧は葺き足ピッチに合わせ垂木ごとにステンレスリング釘45mm以上で固定してください。

※ ステンレスリング釘 45mm以上

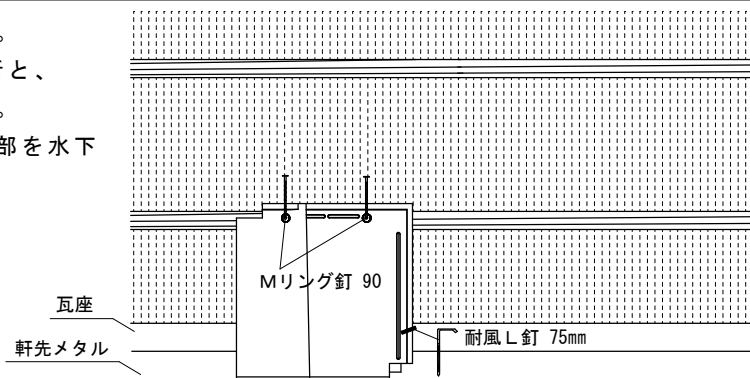
※瓦屋根標準設計施工ガイドラインに準じた棧木留め付け用の釘を推奨致します。



△ 縦棧用テープは水抜き棧木使用の場合、不要。

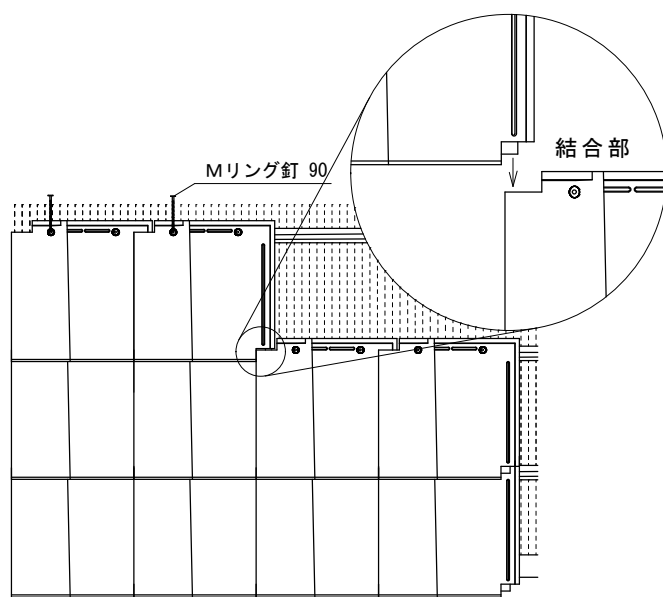
棧葺き・軒先

- * 軒先棧瓦の出は60mmを標準とします。
- * 軒先棧瓦は、Mリング釘90を2ヶ所と、耐風L釘1ヶ所で固定してください。
- * 耐風L釘の取付は耐風L釘の押さえ部を水下に傾けるように注意してください。



棧葺き・平部

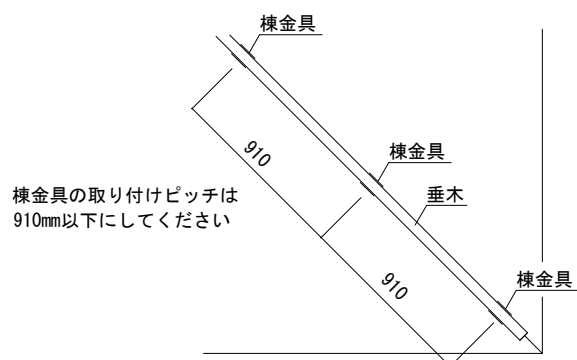
- * 平部の釘打ちする棧瓦は、左の釘穴にMリング釘90で全数固定してください。



10. 葺き - 2

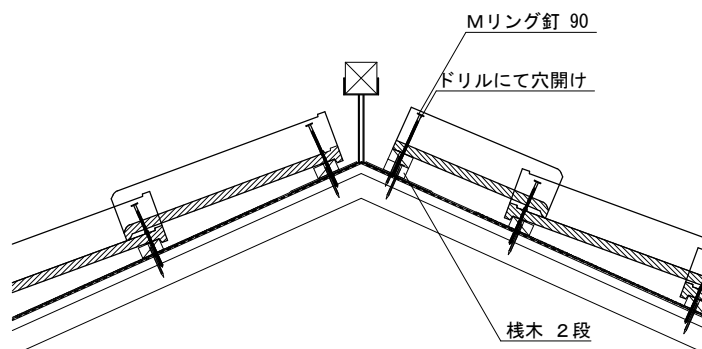
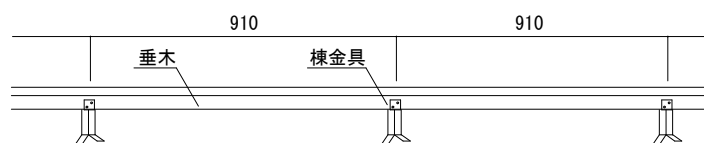
葺き・隅棟

- * 隅棟際の葺きは、三角形の先端部30mm程隅切りしてください。
- * 垂木と葺きの隙間は、出来るだけ少なくしてください。
- * 加工した半端の葺きは、レベルを調整し、釘又は銅線で取り付けてください。
(特に小さい葺きは瓦用接着剤で接着してください。)
- * 棟金具に垂木を釘で固定してください。



葺き・大棟

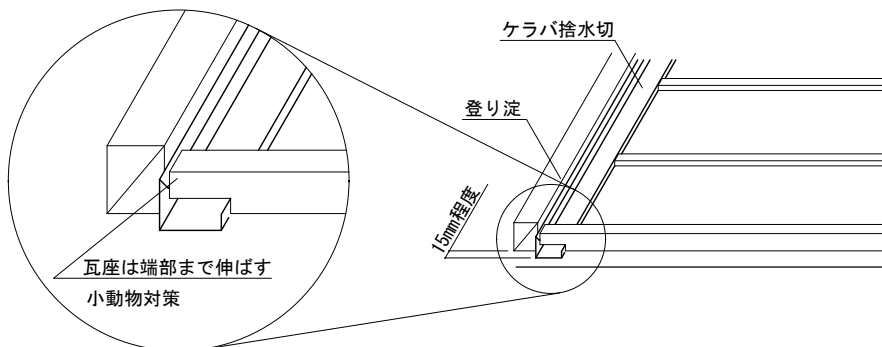
- * 葺きを棟際まで葺き上げてください。
- * 大棟際の葺きをカットする場合は桧木で高さを調整し、葺きにドリルにて穴開けし、釘で固定してください。
- * 棟金具に垂木を釘で固定してください。



1 1. 袖の納まり

捨水切・棧葺き

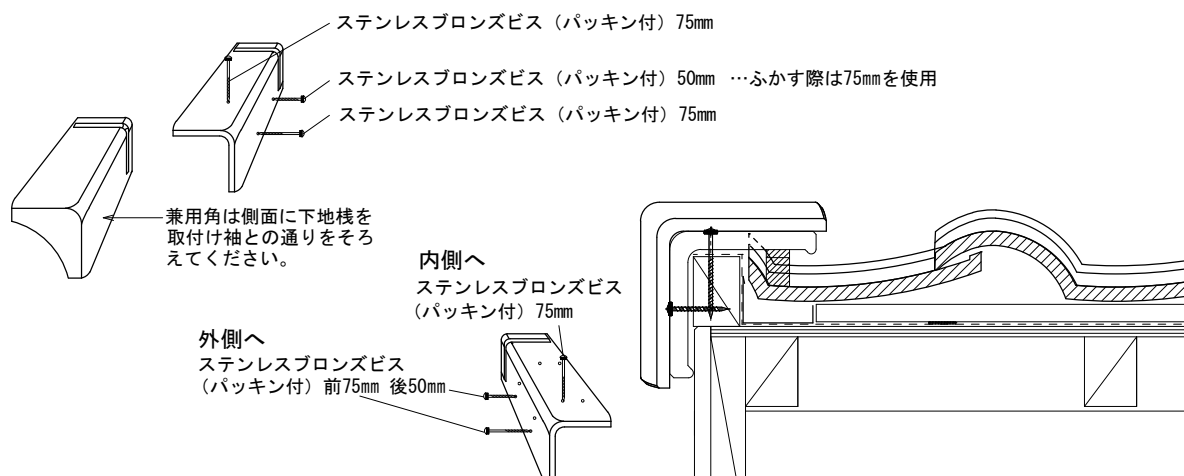
- * 袖際にはケラバ捨水切を使用し、捨て水切りの先端は野地先端から15mm程度出してください。
- * 小動物対策として瓦座の端部はケラバ捨水切形状に切り欠いて、登り淀まで伸ばしてください。
- * 棧瓦の上にEPDMシーラー15×15を300mm程度に切って、瓦1枚ごとに頭から尻部まで貼ってください。



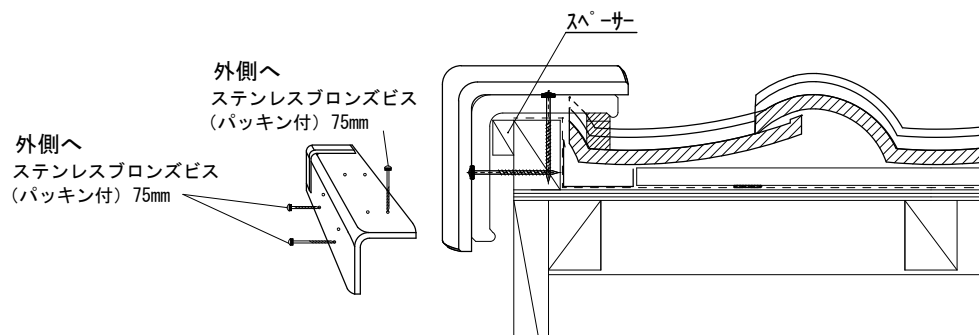
袖瓦取付け

【兼用袖瓦、兼用角瓦】

- * 袖瓦、角瓦は側面よりステンレスブロンズビス（パッキン付）75mmと50mmとで2ヶ所、上面よりステンレスブロンズビス（パッキン付）75mm 1ヶ所で固定してください。
- ※ステンレスブロンズビス（パッキン付）は他色可。



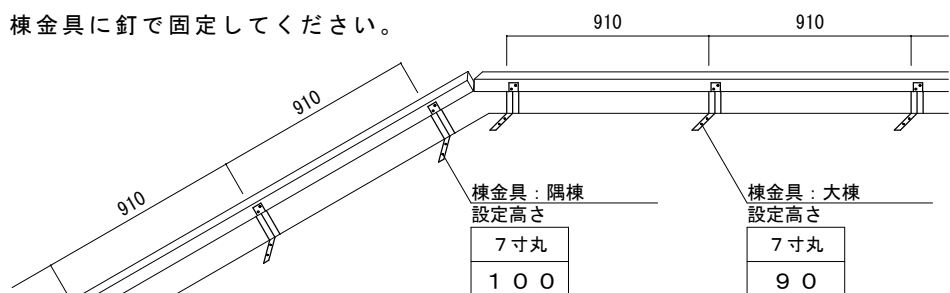
【ソレイユ兼用袖をふかす場合】



12. 7寸丸湿式工法

棟用垂木の取付け

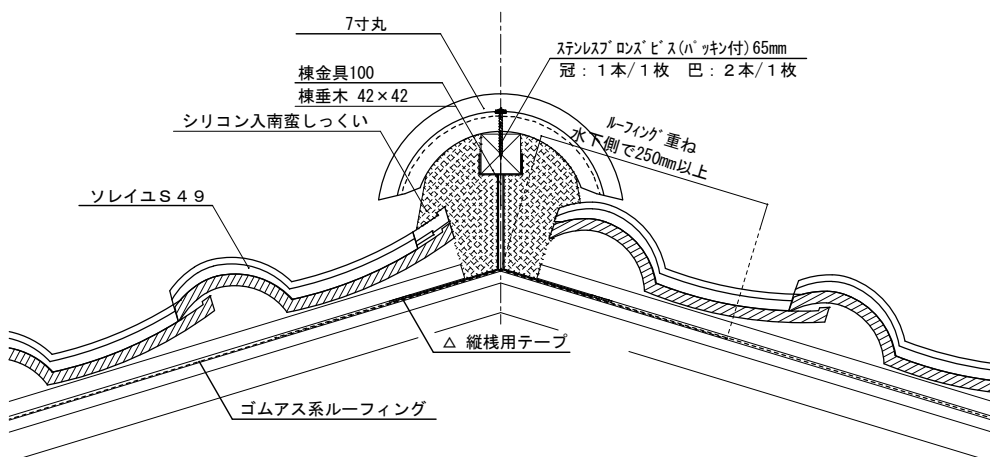
- * 隅棟の芯を出し棟金具を910mmピッチにて取付けてください。
- * 棟金具の設定高さは使用する冠瓦に合わせ、右表のものを使用してください。
- * 棟用垂木を取付け、棟金具に釘で固定してください。



※垂木42×42の場合

棟瓦の取付（隅棟）

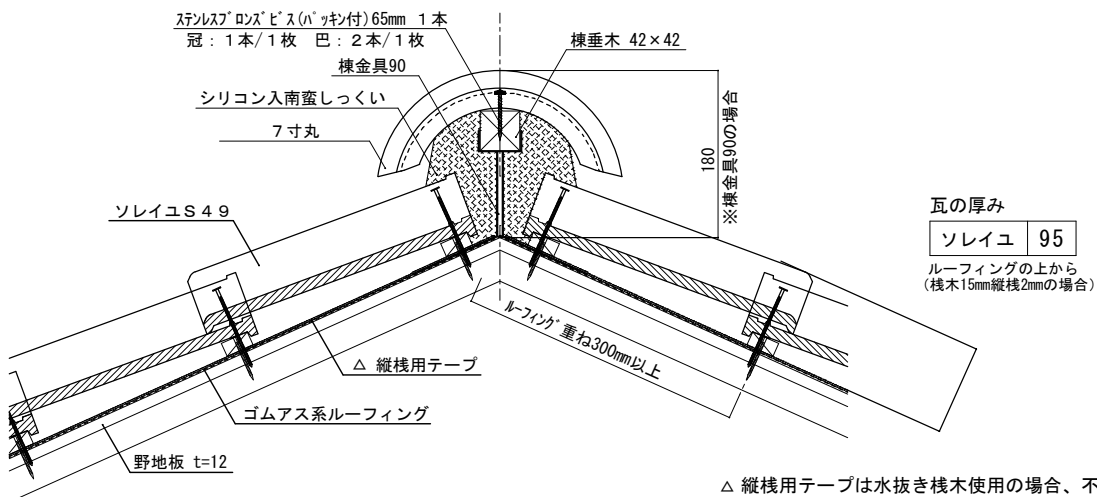
- 【湿式】
- * 棟芯にシリコン入南蛮しっくいを入れます。この際冠瓦の幅より30mm程ひかえてください。
 - * 隅棟の通りに注意して、垂木に冠瓦をステンレスブロンズビス（パッキン付）65mmで固定してください。（隅棟止はステンレスブロンズビス（パッキン付）65mm、2本で固定する。）



Δ 縦棧用テープは水抜き棧木使用の場合、不要。
※ステンレスブロンズビス（パッキン付）は他色可。

棟瓦の取付（大棟）

- 【湿式】
- * 棟芯にシリコン入南蛮しっくいを入れます。この際冠瓦の幅より30mm程度ひかえてください。
 - * 大棟の通りに注意して、垂木に冠瓦をステンレスブロンズビス（パッキン付）65mmで固定してください。（巴はステンレスブロンズビス（パッキン付）65mm、2本で固定する。）

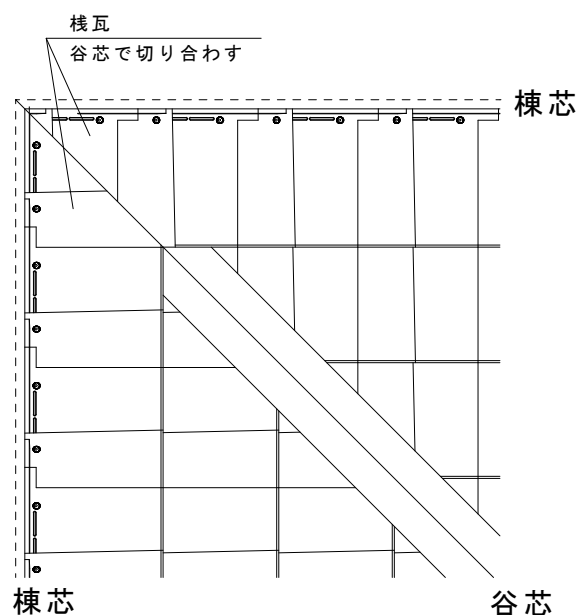
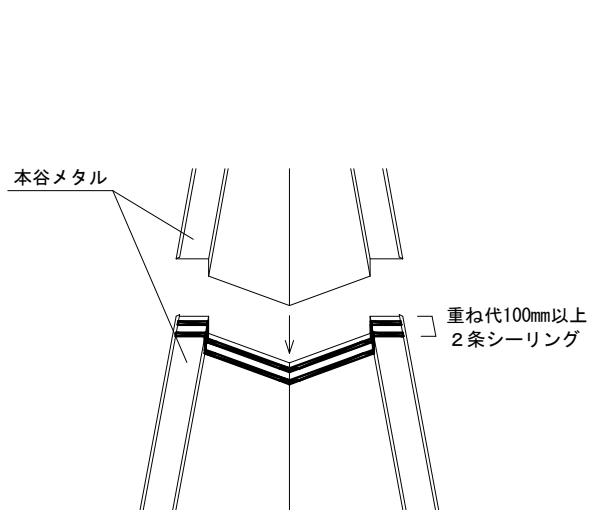
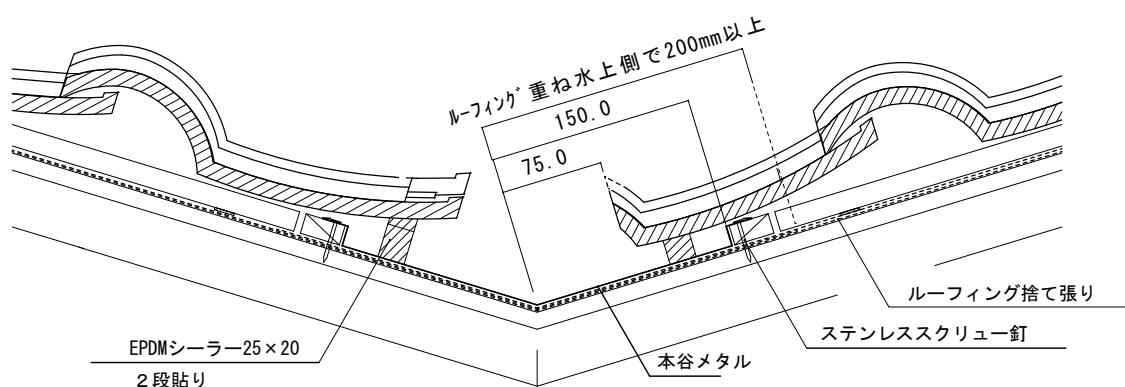


Δ 縦棧用テープは水抜き棧木使用の場合、不要。
※ステンレスブロンズビス（パッキン付）は他色可。

14. 谷の納まり

谷部

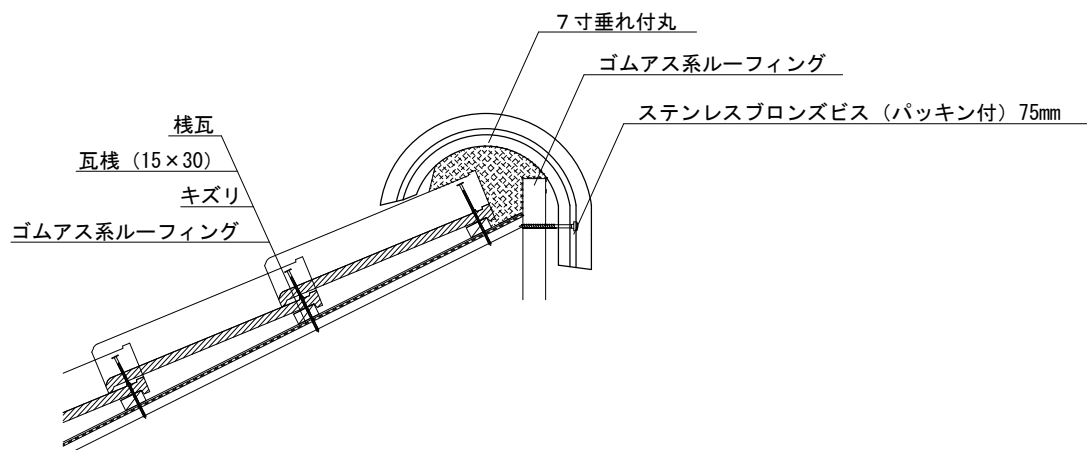
- * 谷部はあらかじめ幅1mでルーフィングを捨て貼りして下さい。
- * 本谷メタルは、ジョイント部分で100mm以上重ね2条シーリングして下さい。
- * 本谷メタルに下図の位置に面戸部材としてEPDMシーラーを施工して下さい。
- * 谷部の棧瓦は、本谷の立ち上がりより75mmの位置でカットして下さい。
- * 釘穴をあけられない様な小さな半端瓦は、隣接する釘固定してある加工していない瓦とシーリング等で接着して下さい。
- * 雀等が入らないように谷樋上部にEPDMシーラーを貼り隙間を塞いで下さい。



15. 片流れの納まり

片流冠使用上の注意

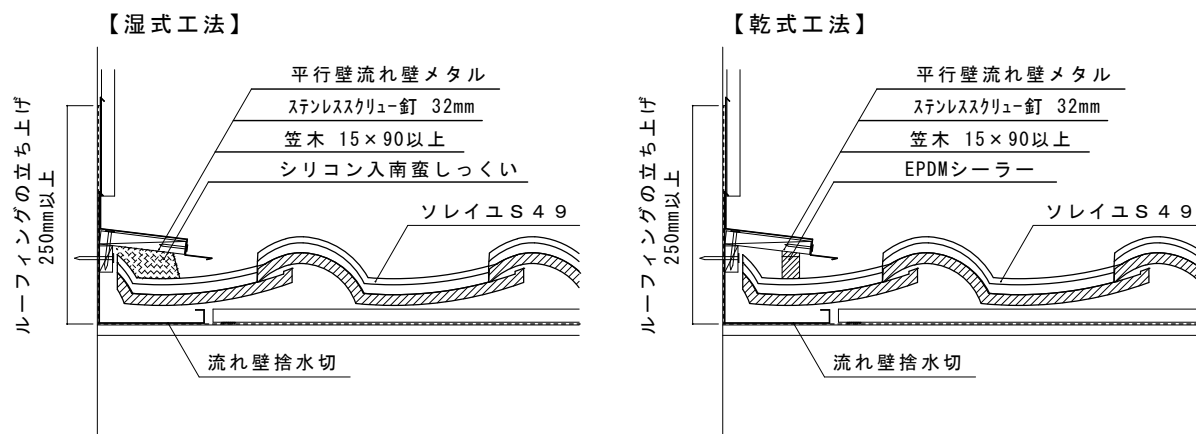
- * ゴムアス系ルーフィングは片流れ頂部を巻き込むよう施工して下さい。
- * 棟際に半端瓦が入る場合等、平部棧瓦と半端瓦のレベルがあうよう瓦棧等で高さを調節してください。
- * 半端瓦の棧山に穴をあけ、Mリング釘 90 にて2箇所固定して下さい。
- * 片流れ7寸丸および片流れ7寸丸止は棟の通りに注意してステンレスブロンズビス（パッキン付）75mm にて2箇所固定して下さい。※ステンレスブロンズビス（パッキン付）は他色可。
- * 本図は参考納まりとなります。実際の現場の状態を考慮して施工して下さい。



16. 壁際の納まり

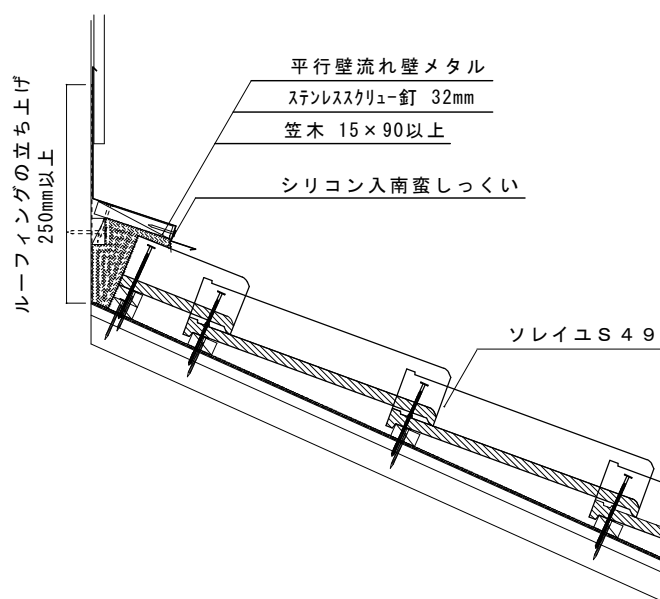
流れ壁際

- * 流れ壁際は流れ壁捨て水切を取り付けてください。
- * 乾式の場合は、EPDMシーラーを密着させます。高さが足りない場合は増し張りしてください。
- * 平行壁流れ壁メタルを、笠木にステンレススクリー釘32mmで固定してください。
- * 平行壁流れ壁メタルのジョイント部は100mm以上重ね2条シーリングしてください。



水平壁際

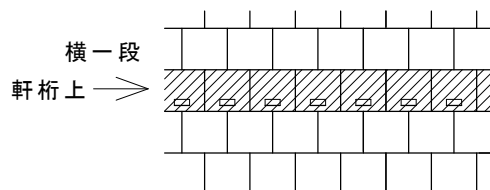
- * 壁際の棧瓦が半端物で納まる場合は棧木で高さを調整し、棧瓦にドリルにて穴を開け、釘で固定してください。



17. 雪止及び雪止金具の施工

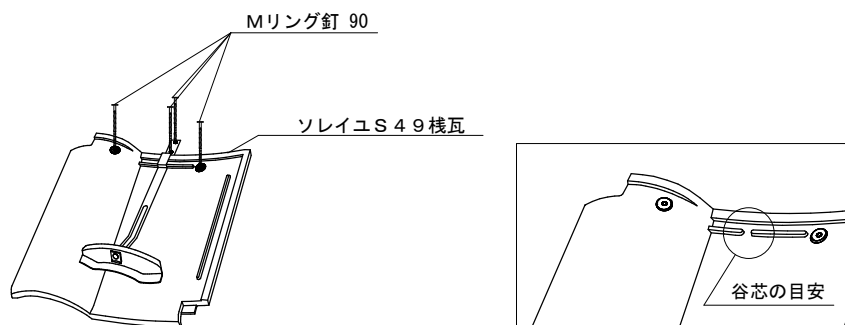
雪止及び雪止金具の取付方法

- * 雪止及び雪止金具は軒桁上に横一段で取り付けてください。
- * 雪止及び雪止金具は積雪量、屋根勾配ごとに雪止取付枚数が異なります。
- * 地域ごとに雪質等も異なるため、雪止及び雪止金具を基準通りに取付けても、気象条件などによっては雪が落下する事があります。地域にあった施工をしてください。



[雪止金具の取付方法]

- * 雪止金具はベージュ色とブラック色の2色のみです。
- * 雪止金具は谷芯に取り付けてください。棧瓦の内側水返しの切れ目が谷芯なので、施工の目安にしてください。
- * Mリング釘 90 で下図のように固定してください。



[雪止瓦の取付基準]

- * 雪止め瓦及び雪止め金具は、地域の最深積雪量、屋根勾配、流れ長さなどの条件で取り付け基準が変わります。設置状況、地域の状況に応じて、最適な取り付けを行ってください。
雪止め設置ルールについてアドバイスが必要なときには弊社営業担当へお問い合わせください。
太陽光発電パネルを設置した場合、雪が滑落しやすくなる事があります。
雪止めの増設などが必要になる場合がありますので、その際は、弊社営業担当までご相談ください。

マ ル ス ギ 株 式 会 社

本社 〒444-1314 愛知県高浜市論地町4丁目2番地30
TEL 0566-52-0211 / FAX 0566-54-5404
<http://www.marusugi.co.jp>
E-mail  info@marusugi.co.jp

碧南工場 〒447-0055 愛知県碧南市浜尾町1丁目62番地
TEL 0566-42-6667 / FAX 0566-42-6669

仙北営業所 〒981-0501 宮城県東松島市赤井字寺48
TEL 0225-83-2159 / FAX 0225-82-1795

福島営業所 〒979-0141 福島県いわき市勿来町窪田道作59-2
TEL 0246-65-7877 / FAX 0246-65-7542

北関東営業所 〒323-0805 栃木県小山市向野981-7
TEL 0285-49-1555 / FAX 0285-49-1558

北陸営業所 〒939-1502 富山県南砺市野尻1555
TEL 0763-22-7624 / FAX 0763-22-7625

九州事務センター TEL 090-5392-3482 / FAX 092-410-2715